

あ・そ・ぼ


2024年3月1日(金)から
6月2日(日)まで 安曇野にて
6月22日(土)から
10月6日(日)まで 東京にて

あれこれいのち

3月1日(金)から
6月16日(日)まで 東京にて
9月7日(土)から
12月1日(日)まで 安曇野にて

みんななかまよ

6月8日(土)から
9月1日(日)まで 安曇野にて
10月12日(土)から
2025年1月31日(金)まで 東京にて

 ちひろ美術館(東京・安曇野)

近森基 + 小原藍 (plaplaX)
展覧会ディレクター



ちひろ美術館ちひろぼつこ50ねん
いっしょのみなあまこ



いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ
展覧会スケジュール

あ・そ・ぼ

2024年3月1日(金)～6月2日(日) 安曇野ちひろ美術館
6月22日(土)～10月6日(日) ちひろ美術館・東京

あれこれいのち

3月1日(金)～6月16日(日) ちひろ美術館・東京
9月7日(土)～12月1日(日) 安曇野ちひろ美術館

みんななかまよ

6月8日(土)～9月1日(日) 安曇野ちひろ美術館
10月12日(土)～2025年1月31日(金) ちひろ美術館・東京

展覧会特設サイト

<https://chihiro.jp/2024kodomu> (2024年1月末公開予定)

ちひろから、いまのこどもと、 かつてのこどものみなさまへ――

2024年はいわさきちひろの没後50年。

半世紀のときを超えて、ちひろの絵が語りかけてくるものとは……？

「あそび」「自然」「平和」の3つのテーマから、

現代科学の視点も交えて、ちひろの絵を読み解きます。

子どもも大人も見ただけでなく参加したくなる、

今までにないちひろの展覧会です。



いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。第二次世界大戦後、紙芝居や教科書、絵雑誌、絵本など子どもの本を中心に画家として活躍。生涯にわたって子どもや花を描き続けた。1974年没、享年55。現存する作品は約9600点。

展覧会ディレクター

近森基+小原藍 (plaplaX)

インタラクティブな作品制作を軸に、展覧会の展示構成、空間演出、映像コンテンツの企画制作など幅広く活動する。さまざまな手法やメディアを使って、創造的な学びや発見のある体験づくりに取り組む。2018年、「いわさきちひろ生誕100年『Life展』あそび plaplaX」をちひろ美術館で開催。



無垢な子どもたち、美しい自然、平和への願い。

これらは、ちひろさんが生涯を通して描いたテーマです。

没後50年にあたる1年間、改めてこのテーマと向き合おうとしたとき、<科学の目>を通してみることを考えました。とはいえ難しい知識や情報を駆使するわけではありません。目の前のものの“ありのまま”をよく見て受け止め、そこから出発する。科学の目は、特別な人が難しいことを考えるためのものではなく、だれもが見慣れた風景を、新たな発見にあふれた豊かな世界に変化させるまなざしだと思ったのです。本来子どもたちは、そんな風に見つめているかもしれません。

会場で作品を見たり触れたり、体を動かしたり。子どもも大人も「わあ！これはなんだ？」とわいわいっしょになって進んでいく。そんな展覧会のあり方を目指しました。

グラフィックデザイン

岡崎智弘

2011年9月よりデザインスタジオSWIMMINGを設立し活動。グラフィックデザインの姿勢を基軸に、印刷物/映像/展覧会など視覚伝達を中心とした領域を柔軟につなぎながら、仕事の規模を問わず、文化と経済の両輪でデザインの活動に取り組んでいる。デザインの仕事は、自分が知らない世界や事象と向き合う機会となることや、人や社会とつながる行為となること、また世界のとらえ方や構造を発見し関与することができるものであり、その可能性に大きな魅力を感じている。



いわさきさんの絵は、本や印刷物という形態で生活のなかにいっしょにいます。私たちが暮らしている日常と、いわさきさんの世界とが溶け合う境界に興味を持ちました。

私たちの生きる時間のなかに、いわさきさんの世界がくつつくとき、そこに生まれる感覚を「豊かさ」ということばでいうような気がしています。

今回、私がポスターやチラシのグラフィックデザインで取り組もうとしていることは、いわさきさんの世界と私たちの世界とが重なる、モノや空間としてのグラフィックイメージです。絵というものは平面の存在ではありますが、実は実体を持ったモノや空間とともに在るものです。絵が、私たちの生きる世界と重なるものになる状態をデザインしようと試みます。そして、その見方を展覧会場のグラフィックにも溶け入るようにデザインできないものかと想像しています。

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館 chihiro.jp 各種SNSも更新中

お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

いわさきちひろ ぼつご50ねん
こどものみなさまへ
あ・そ・ぼ

2024年3月1日(金)～6月2日(日)

安曇野ちひろ美術館

主催：ちひろ美術館
 展覧会ディレクター：近森基+小原藍(plaplaX)
 企画協力：森口佑介
 協力：株式会社ジャクエツ 大木洋平(OKI FURNITURE&DESIGN)
 後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、信濃毎日新聞社、市民タイムス、abn長野朝日放送、長野エフエム放送株式会社



1 いわさきちひろ 「このあしたん」 1969年

いわさきちひろの絵のなかの子どもたちは、なんでもあそびにしています。ぬいぐるみを友だちにする子、雨の日に水たまりであそぶ子、そうじまであそびとして楽しんでいる子もいます。子どもはあそびながら、世界を探索し、知識を獲得していきます。

本展では、美術館で絵を見ることを「あそび」にします。アートユニットplaplaXによるインタラクティブな作品に加え、発達心理学の視点からもちひろの絵を読み解きます。子どもも、かつて子どもだった大人も、のびのびとちひろの世界を楽しむことができると同時に、あらためて子どもやあそびについて知り、子どもの今と未来について考える展覧会です。

企画協力

森口佑介(京都大学准教授/発達心理学、認知科学)

専門は発達心理学・発達認知神経科学。子どもを対象に、認知、社会性、脳の発達を研究する。また、保護者や子どもに関わる仕事をしている人への講演などを通じて、子どもの発達に関する知見を広く発信している。



大人にとっては仕事が生活の中心ですが、子どもにとって生活の中心はあそびです。心理学では、子どもはあそびを楽しむことで毎日を元気に過ごすことができ、大人になる準備をしていると考えられています。また、子どもは、どんなつまらないことも、あそびにして楽しむことができます。いわさきちひろの絵は、このような子どものあそびの本質をしっかりとらえています。なにより、子どもの視点からあそびを描いているところがちひろのすばらしさです。本企画では、このようなちひろの絵を、みなさまにあそびながら見ていただきたいと思います。

展覧会の見どころ

絵のなかのあそぶ子どもたち

ごっこあそびはもちろん、雨の日には水たまりであそんだり、そうじの手伝いもあそびにしたりと、ちひろの絵のなかの子どもたちは、なんでもあそびにしています。森口佑介氏協力のもと、ちひろの絵を通して、あそびや子どもについて、発達心理学の視点から読み解きます。

美術館があそびの場に

ちひろの絵本の空間を遊具として再構成した《絵本を見るための遊具》(2018年)とともに、絵の鑑賞をあそびにする新作《絵を見るための遊具》を展開します。のぞいて、くぐって、のぼって……展示室内に点在する遊具は、子どもたちがついあそびたくなってしまう仕掛けがいっぱい！本展では、絵を見ることもあそびにします。

ちひろの絵とあそぶ

紙の上に水彩絵の具の色がにじむように、動きにあわせて足元に色が広がる《絵の具の足あと》(2018年)。ちひろの絵本『あめのひのおるすばん』から着想を得た新作《まどのらくがき》。ちひろの絵のなかであそぶインタラクティブな作品をplaplastが制作します。



2 いわさきちひろ 海の夕焼けと手紙をかく少女
『ぼちのきたうみ』(至光社)より 1973年



3 いわさきちひろ そうじをする子ども
『ひとりできるよ』(福音館書店)より 1956年



4 いわさきちひろ 黄色い風船を持つ少年 1968年



5 いわさきちひろ 絵をかく女の子 1970年



6 plaplast 絵の具の足あと 2018年



7 plaplast 絵本を見るための遊具 2018年
撮影：森本菜穂子

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp 各種SNSも更新中

お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

展覧会関連イベント

あかちゃんとおでかけしよう！ ファーストミュージアムデー

日時：4月13日(土) 10:00～11:00

参加費：無料(入館料別)

定員：親子10組

対象：0～2歳児と保護者

申し込み：要事前予約(公式サイト/TELにて)

あかちゃん絵本の読み聞かせや開催中の展覧会「あ・そ・ぼ」の作品鑑賞ツアーを親子で楽しみましょう。

ちひろとあそぼ 親子で楽しむギャラリーツアー

日時：4月21日(日) 11:00～12:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：親子10組

対象：小学生と保護者 / 申し込み：要事前予約(公式サイト/TELにて)

開催中の展覧会「あ・そ・ぼ」の作品鑑賞ツアーを親子で楽しみましょう。

ギャラリートーク

毎月第3土曜日 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要

開催中の展覧会「あ・そ・ぼ」の見どころを学芸員がわかりやすく解説します。

そのほかのイベント

スージー・リー講演会「物語はあなたにあり」

共催：松川村図書館 協力：(一社)日本国際児童図書評議会

日時：3月18日(月) 18:00～19:30

会場：松川村・すずの音ホール 2F 研修室

参加費：1000円 / 定員：40名

申し込み：要事前予約(公式サイト/TELにて)

松川村図書館(TEL.0261-62-0450)でも申し込みできます。

韓国の絵本画家スージー・リーさんに、自作の絵本について語っていただきます。

ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：3月20日(水・祝) 11:00～

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要

絵本カフェにて絵本の読み聞かせを行います。

開館記念日 4月19日(金)

ちひろの心のふるさと、信州・松川村に当館が開館して27年目の記念日です。当日で来館の方全員に、ポストカード(非売品)をプレゼントします。

絵本のじかん

毎月第1土曜日 11:30～12:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせを行います。

*最新のイベント情報は公式サイトでご案内しています。

※イベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。
最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。

松川村民感謝デー 3月3日(日)

松川村にお住まいの方に、絵本カフェのドリンクを1杯プレゼントいたします。

長野県民感謝デー 3月24日(日)

長野県にお住まいの方は、入館が無料になります。

安曇野ちひろ公園では、まつかわ花咲きまつりを開催。

あわせてお楽しみください。

※受付でご住所のわかるものをご提示ください。

安曇野ちひろ公園 イベント

まつかわ花咲きまつり

日時：3月24日(日) 9:30～15:00(予定)

会場：安曇野ちひろ公園

問い合わせ先：松川村役場経済課商工観光係

TEL.0261-62-3109

松川村の春を彩る、毎年人気のイベント。いわさきちひろの作品を色とりどりのパンジーで表現する地上絵や、パンジーの即売会、マルシェ・高所作業車の乗車体験も開催します。



はなぐるま 1967年

入館料改定のお知らせ

ちひろ美術館では、2024年3月1日より、入館料を下記の通り改定いたします。今後もより充実した展覧会の開催と美術館活動に努めてまいります。何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

〇ちひろ美術館(東京・安曇野)

大人1200円 / 18歳以下・高校生以下無料

団体(東京館は有料入館者10名以上 / 安曇野館は有料入館者15名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の保護者(お子さま1名につき2名まで)は900円 / 障害者手帳ご提示の方とその介添えの方1名は無料 / 年間パスポート3000円

展覧会基本情報

展覧会名	いわさきちひろ ぼつこ 50ねん こどものみなさまへ あ・そ・ぼ
会期	2024年3月1日(金)～6月2日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 ※GW(4/27～5/6)は9:00～17:00 ○休館日＝水曜日(祝休日は開館、翌平日休館) ※GW(4/27～5/6)は無休
交通	○電車の場合＝JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合＝長野自動車道安曇野ICより約30分



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館 chihiro.jp 各種SNSも更新中

お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail: apublicity@chihiro.or.jp